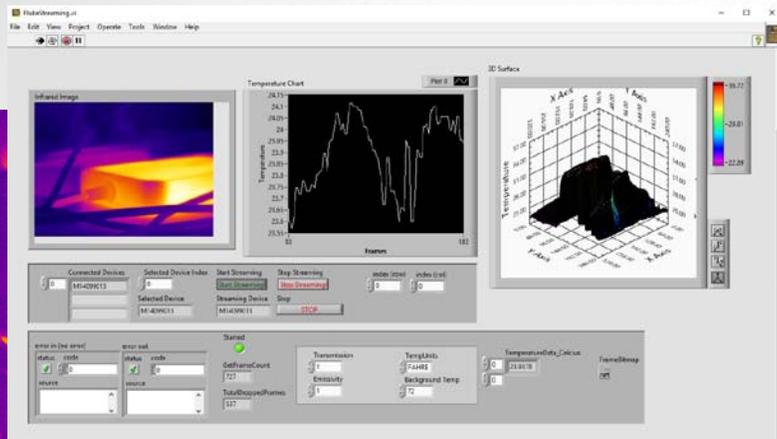
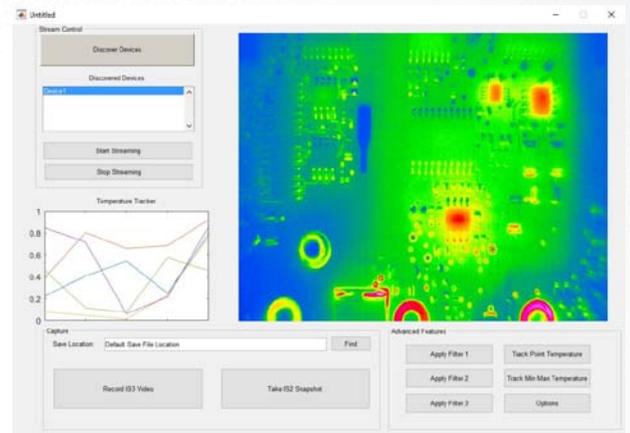


## LabVIEW ツール・ボックス



## MATLAB ツール・ボックス



## 赤外線画像で R&D の解析作業を最適化する MATLAB® および LabVIEW® ツール・ボックス

研究開発における実験では、温度のごくわずかな変化が重要な意味を持つ場合があります。うまくいっていないのは何か、そして、うまくいっているのは何か。ある種の R&D の解析作業では、赤外線画像が重要な鍵となるデータとなりますが、実験やレポートに組み入れることは容易ではありませんでした。

解像度 640 x 480 の TiX580 赤外線カメラは、測定精度が高いだけでなく、インターフェースも直感的で、エレクトロニクスの設計や検証、材料科学評価、熱モデリングに使いやすいツールです。R&D エンジニア、科学者、研究者向けに設計された TiX580 の特長は以下のとおりです：

- Fluke ツール・ボックスにより、MATLAB® および LabVIEW® プラットフォームのメリットを活用でき、R&D の解析やレポートに高解像度の赤外線データ、ビデオ、画像を追加可能
- 各フレーム・レートでのピクセル単位の放射データ転送により、温度変化の経過を把握
- 240°回転式の画面により、撮影しにくい場所でも正確な位置から画像を容易に取り込み
- オプションの 2 倍望遠スマート・レンズで極小部品のデータも取得
- 標準的な 3.5 インチ・スクリーンより 1.5 倍広い 5.7 インチ・タッチ・スクリーン

これらのツール・ボックスは、フルークの赤外線カメラ TiX1000、TiX660、TiX640、TiX620、TiX580、TiX560 で利用できます。

ツール・ボックス・ソフトウェアと設定手順のダウンロードはこちら：

[www.fluke.com/TILabVIEW](http://www.fluke.com/TILabVIEW)

[www.fluke.com/TIMATLAB](http://www.fluke.com/TIMATLAB)

プリント基板のプロトタイプ的设计またはテスト、新製品や新しい素材の開発、または空気力学に基づく層流パターンの解析に取り組まれておられるお客様にとって、熱画像は重要な役割を果たします。温度、放熱、潜熱、その他の熱に関連する材料特性を解析することによって、数多くの潜在的問題を開発プロセスの初期段階で明らかにできるため、品質の確保や最終段階でのトラブルの発生防止に役立ちます。赤外線を活用することによって、資材分析、部品の設計、化学反応の制御に至るまで、さまざまな分野で貴重な情報が得られます。

注：熱画像はイメージ画像であり、ご紹介のモデルで撮影されたものではない場合があります。